

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号（第14号）のトピックス

****流行警報発令中****

- 10週(3月5日～11日)のインフルエンザ患者報告数は 9,327人、
 定点当り 22.26人（昨年同期 定点当り 16.26人）
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等及び集団事例は360件
- 9道県でインフルエンザ定点当りの患者報告数が30人を超える
- 第10週における東京都の流行規模は、全国で15位

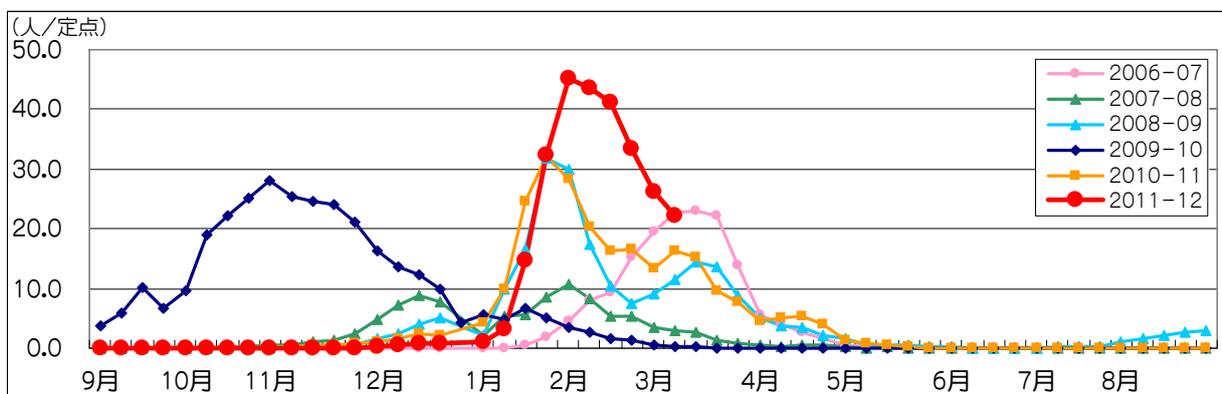


図1. インフルエンザ定点*当り患者報告数の推移（東京都）

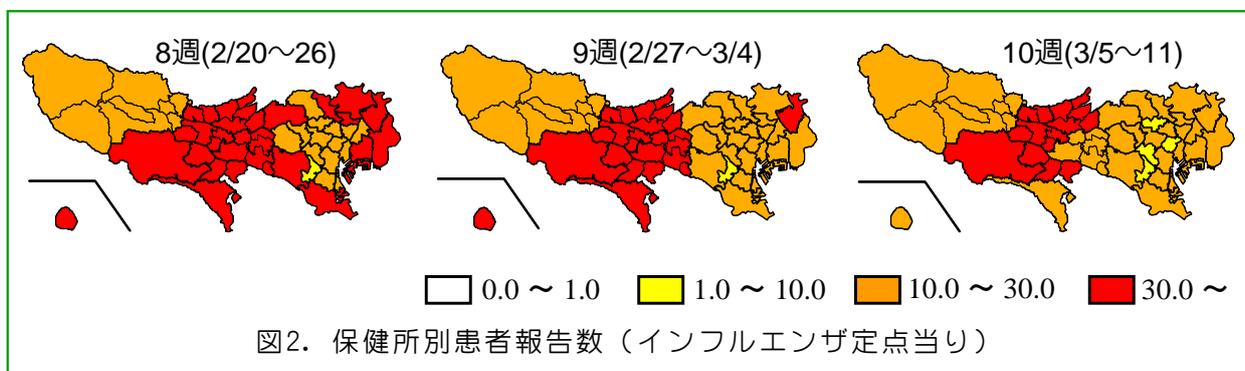


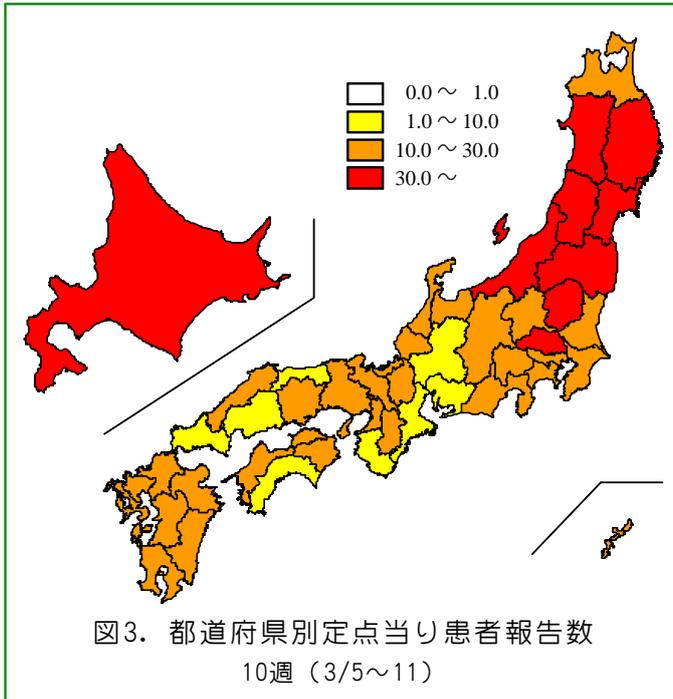
図2. 保健所別患者報告数（インフルエンザ定点当り）

1 インフルエンザ患者発生状況 第10週（3月5日～11日）

【東京都】インフルエンザ定点からの患者報告数は 9,327人、定点当り 22.26人と先週（26.33人/定点）の約85%になりましたが、まだ流行警報発令中です（図1）。多摩小平（38.78人/定点）、八王子市（34.56人/定点）、多摩立川（30.48人/定点）、南多摩（30.00人/定点）の4保健所管内で定点当りの患者報告数が30人を超えています（図2）。

【全国】患者報告数は 103,863人、定点当り 21.06人です。全国は先週（23.70人/定点）の約89%になりました。新潟（41.89人/定点）、山形（39.81人/定点）、宮城（38.70人/定点）をはじめとする9道県で定点当りの患者報告数が30人を超えています（図3）。東京

*:インフルエンザ定点
419か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。
**:基幹定点
25か所(全国約500か所)の医療機関を「基幹定点」として指定しています。



(22.26人/定点)の流行規模は全国で15番目になっています。

2 インフルエンザ集団感染等発生状況

インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等及び集団事例が10週に360件(内訳;幼稚園・保育園63、小学校268、中学校21、高校1、社会福祉施設5、医療機関2)報告されました。

3 インフルエンザ入院患者発生状況

基幹定点**より10週に26件(1.04人/定点)の報告がありました。年齢階級別では、9歳以下が13件(50.0%)、60歳以上が7件(26.9%)となっています。

4 東京都の検査情報

感染症発生動向調査事業により定点医療機関から当センターに搬入された検体から、10週にAH3亜型10件とB型19件が検出されています(表1、図4)。また、定点医療機関以外から搬入された検体からは、インフルエンザウイルスは検出されていません。

7週から10週の直近4週間(2月13日~3月11日)に検出されたインフルエンザウイルスの型別検出割合をみると、B型の割合が増えてきてAH3亜型とほとんど同じ割合になっています(図5)。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)によると、3月15日までに、6都道府県からAH1pdm09亜型7件、全都道府県からAH3亜型3,461件、43都道府県からB型649件が報告されています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス			
			AH1pdm09	AH1	AH3	B
36-6週(9/5-2/12)	501	195	1	0	158	36
7週(2/13-19)	31	21	0	0	15	6
8週(2/20-26)	33	19	0	0	12	7
9週(2/27-3/4)	28	13	0	0	4	9
10週(3/5-11)	36	29	0	0	10	19
合計			1	0	199	77

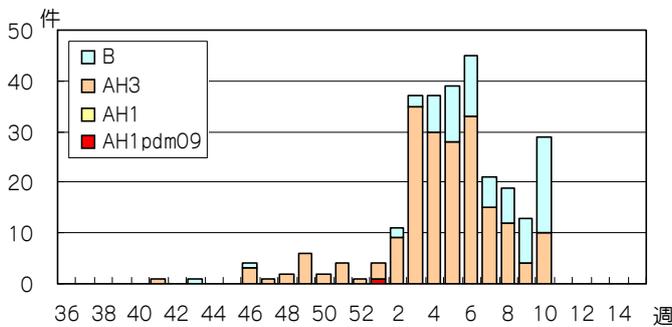


図4. インフルエンザウイルス検出数
(定点医療機関から搬入された検体)

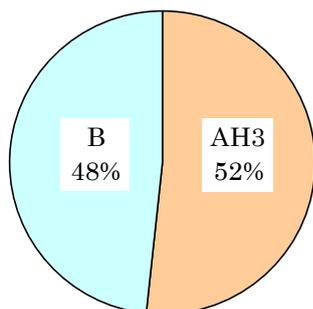


図5. 型別検出割合
直近4週間

(7~10週、センターに搬入された全検体のうち陽性となった85件の内訳)

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/